



KAB提案パートナーメモ

JAPAN FOUR SEASONS

株式会社ジャパンフォーシーズンズ

1. KABとは？

KABは、バイオレメディエーション技術として使用する機能強化複合微生物群製剤です。有機物分解酵素を分泌する通性嫌気性土壌細菌である和田菌を軸に、片岡バイオ研究所が自然環境から複数の細菌・古細菌および菌類を採取し、独自の馴養で機能強化した特定微生物を、メゾスコピック・マイクロバイオロジーにおける微生物間コミュニケーションを活用した独自の複合菌技術によって組成しています。複合菌の多機能性は各大学や研究機関で立証されています。しかし、活用の可能性は未知数であり、片岡バイオ研究所ならびに当社は、複合菌の可能性を徹底的に追求し、KABは絶え間なく進化し続けています。先進のバイオレメディエーション技術であるKABが有機系環境課題を解決に導きます。

2. KABでできること

- (1) 汚泥の分解
- (2) 汚水の浄化
- (3) 廃油の分解（動植物油・鉱物油・油脂）
- (4) 高濃度BOD排水の浄化（アルコール、シュガーエステル、ペクチン等）
- (5) 難分解性物質分解（PCB・TCB・ダイオキシン・ジオキサン・フミン等）
- (6) 土壌汚染の浄化
- (7) 悪臭の無臭化（悪臭防止法に基づく悪臭物質等に対応）
- (8) 生ごみ等の有機残渣の分解 等

3. KABが使えるところ

- (1) 施設
 - ①工場（食品、飲料、製紙、染料、化学、石油、機械等の特定施設で有機廃水を排出している工場）
 - ②ショッピングモール、レジャー施設等（複合型商業施設）
 - ③百貨店等（大規模小売店舗）
 - ④ホテルや企業内食堂・迎賓館等
 - ⑤農業集落排水処理施設
 - ⑥病院
- (2) 設備
 - ①排水処理設備…特定施設（工場など）からの汚水または廃液を処理する施設
 - ②グリストラップ（厨房除外設備などの除外設備）
 - ③浄化槽
 - ④ディスポーザ（要ご相談）

4. 提案フロー

- (1) KABが使える対象施設・設備の有無確認 →○ならアプローチ可否確認へ。OKなら(2)へ
- (2) アプローチ先
なるべく役職の上の方
 - ①本社の工場統括のセクションまたは設備・技術担当のセクション
 - ②本社のCSR担当セクション
 - ③工場の設備・技術セクション
- (3) 工場…余剰汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリなどの産業廃棄物が出ているか、困っていることはあるか、産廃削減の意向があるかを確認してください。
工場以外…グリストラップや浄化槽で汚泥や油で困っていないか確認してください。
- (4) 「お困り事がある」「対策の意向がある」場合
 - ①KABをチラシ等で簡単にご照会ください。（詳細説明はしない）
 - ②「KAB事前確認シート」へのご記入を依頼し、必要な資料のご提供をお願いしてください。
- (5) 訪問・WEBでのミーティング日時の設定をお願いします。
基本は訪問をお願いします。（WEBでも結構ですが、成約率は低くなります。）

これ以降はJFSがバトンを引き継ぎ対応いたします。なお、(4) ②は引継ぎ後でも問題ありません。